

令和〇年度 就学援助申請書

(宛先) 各務原市教育委員会

就学援助を受けたいので、裏面の同意事項に同意の上、以下のとおり申請します。

1 令和〇年 〇月 〇日
 申請者(保護者)氏名 各務原 花香 印

3	学 校 名	学 年	性 別	ふりがな 児童生徒氏名	かかみがはら じろう 各務原 二郎							
	4 〇〇〇小学校	1	男	ふりがな 保護者氏名	かかみがはら はなか 各務原 花香							
5	住所	(アパート名・部屋番号) 各務原市 〇〇〇町 〇丁目 〇〇番地 〇 〇〇〇ハイツ 〇〇〇 号室										
	振込先 口座 (申請者の名 義に限る。)	金 融 機 関 名	支 店 名	金融機関コード	支店コード							
		〇〇〇	銀行 信金 信組 農協	〇〇〇	本店 支店 出張所	1	2	3	4	5	6	7
		口 座 種 別	口 座 番 号	口 座 名 義 人 (カ ナ)								
	普通 当座	7	1	2	3	4	5	6	7	カカミガハラ ハナカ		
6	家 族 の 状 況	氏 名	続 柄	生 年 月 日	勤 務 先 ・ 学 校 及 び 学 年	住 宅						
		各務原 二郎	本人 (児童生徒)	H24.10.8	〇〇〇小学校 1年	9 1.持家 2.借家						
		各務原 花香	母	S54.1.25	〇〇ホームセンター							
		各務原 一郎	兄	H20.8.22	〇〇〇小学校 5年							
		田中 太郎	祖父	S29.5.5	〇〇〇警備							
		田中 良子	祖母	S32.3.3	主婦							
※同一生計の世帯全員について記入してください。 (世帯全員とは、同居している方全員です。住民票上は別世帯であっても、同居している場合は世帯に含まれます。ただし、世帯の生計を維持する方が単身赴任等の理由で別の場所に住んでいる場合は、その方も含みます。) ※続柄は、児童生徒からみた続柄を記入してください。(例:母、兄、祖父、おば など)												
10	現在の状況 (該当する番号に○を付けてください。)				申請理由(家族の生計状況、健康状態等) ※「母子(父子)家庭のため」という理由のみでは不可 援助を必要とする理由を詳しく記入してください。							
	1. 生活保護が停止又は廃止になった。 2. 市民税が非課税又は減免されている。 3. 個人事業税又は固定資産税が減免されている。 4. 国民年金掛金が減免され、又は国民健康保険料が減免され、若しくは徴収猶予されている。 5. 児童扶養手当を受給している。 6. 生活福祉資金の貸付を受けている。 7. その他() ※3・6に該当する場合は、証明できる書類の添付が必要				離婚をして両親と一緒に住んでいます。父と私が仕事をしていますが、パートなので収入も少ないです。母は持病があり仕事できません。母の医療費や子どもたちの学習費もかかるので援助をお願いしたいです。							

※申請後、教育委員会の審査結果を通知書により学校長を経て通知します。

同意事項

- ①教育委員会が認定に必要な情報(市町村民税及び固定資産税に関する情報、国民健康保険料に関する情報、生活保護及び児童扶養手当の受給に関する情報等)を関係機関に照会すること。
- ②教育委員会が民生委員児童委員に、必要に応じて認定に必要な情報を提供し、及び照会すること。
- ③就学援助の認定を受けた場合、支給される就学援助(学校給食費、学用品費等)の請求に関する一切の権限を、学校長に委任すること。
- ④学校納付金(学校給食費、学用品費等)に滞納がある場合は、就学援助をこれに充当することに同意し、就学援助の請求及び受領に関する一切の権限を学校長に委任すること。
- ⑤各務原市立の学校へ転校した場合、③④の委任行為が転校先の学校長に移ること。
- ⑥支給した就学援助が過払い等で返還を要する場合、返納に関する一切の権限を学校長に委任すること。

12

学校長の意見欄

1. 保護者の職業が不安定なため、学校納付金の納付状況が悪い。
2. 経済的理由による欠席日数が多い。
3. 世帯収入が少なく、生活が苦しい。
4. その他()

年 月 日

学校長

印

【記入上の注意事項】

1. 申請年月日の欄には、学校へ提出する日付を記入してください。
2. 申請者(保護者)氏名の欄は、申請書裏面の同意事項の内容を確認のうえ署名押印してください。
3. 学校名、学年、氏名、ふりがなを正確に記入してください。
4. 住所欄は、記入漏れがないよう正確に記入してください。
5. 振込先指定口座に関する情報を正確に記入してください。振り込みできる口座は、原則**申請者(保護者)の名義に限ります。**(申請者(保護者)以外の口座に振り込みを希望される方は、学校にご相談ください。)情報が間違っていると支給できないことがあります。金融機関コード・支店コードがご不明な場合は、空欄でも構いません。また、**口座番号が確認できる通帳等の写しを添付してください。**
6. 家族の状況には、**世帯全員**を記入してください。世帯全員とは同居している方全員のことを指します。**祖父母等で住民票を別にしている場合(世帯分離)でも、同じ家に住んでいれば世帯に含まれます。**また、保護者等家計を支えている方が、単身赴任等により別居している場合も、同一世帯とみなします。
7. 続柄の「本人」とは、認定申請する児童生徒をいいます。本人以外の家族については、本人からみた続柄を記入してください。(例:父、母、兄、妹、祖父、叔母など)
8. 勤務先については、主たる収入を得ている勤務先等を記入してください。
9. 家族の状況の「住宅」欄は該当箇所に○印をつけてください。
10. 現在の状況について、1～7の該当する番号に○印をつけてください。「3」または「6」に該当する場合は、証明できる書類を添付してください。
11. 申請理由の欄には、**認定を必要とする現在の家族状況等を詳しく書いてください。**
(「母子(父子)家庭のため」という理由だけでは不可)
12. 学校長の意見の欄には何も記入しないでください。

※申請書は児童生徒1人につき1枚必要です。